



2018.1.1  
 Vol. 236 Contents



会長年頭のご挨拶 ..... P1  
 河川愛護絵画コンクール表彰式 ..... P2  
**河川愛護絵画コンクール**  
**入賞者紹介** ..... P3 ~ P4  
 わがまちのかわ◎第36回 荻田町 ..... P5 ~ P6  
 河川事業現地研修会報告 ..... P7 ~ P8  
 ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!! ..... P9 ~ P10  
 No.41 中国で人気の魚たち?



# 年頭のご挨拶



新年あけまして  
おめでとうございます

福岡県河川協会

会長 <sup>よし</sup>吉 <sup>むら</sup>村 <sup>はるか</sup>悠

(福岡県議会県土整備委員会委員長)

平成30年の新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、10代の若者の活躍がめざましい年でした。将棋では史上最年少でプロとなった14歳の藤井四段が29連勝を達成、卓球では張本選手や平野選手、サッカーや野球等でも10代選手の活躍が報じられました。若者が活躍する姿はさすがしく、社会全体が明るくなるものと改めて感じさせられました。

一方で、福岡県朝倉市等では7月5日から6日にかけて記録的な大雨となり、大量の土砂や流木による河川埋そく等により、甚大な被害が発生しました。

福岡県や関係市町村では、総力を挙げて災害復旧に努められているところです。

国においても、昨年末、「九州北部緊急治水対策プロジェクト」が発表されました。甚大な被害を受けた河川について、概ね5年間で緊急的・集中的に治水機能を強化する改良復旧工事等を実施するとともに、危機管理型水位計の設置の推進等に取り組むこととしております。また、特に被害が大きかった赤谷川流域においては、本格的な復旧工事についても権限代行により国が実施するとしております。

今後、県、国、市町村及び地域が連携して、ハード・ソフト一体となった対策が実施され、一日も早い復旧・復興、安全・安心なまちづくりができますことを、心より願っております。

福岡県河川協会といたしましても、これまで県と連携しながら災害復旧実務講習会等を開催し、また機関誌「かわ」の発行や協会ホームページを通して、河川に関する情報の提供を行って参りました。さらには、小学生を対象とした河川愛護絵画コンクールの実施等の啓発活動も行っているところです。

今後とも、災害に強い福岡県づくりや自然豊かな河川環境を次世代に残していくための活動に貢献できるよう、関係各位のご指導、ご支援を賜りながら努力して参りたいと考えております。

本年が、皆様にとりまして最良の年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成29年度

# 河川愛護絵画コンクール 表彰式

平成29年度福岡県河川愛護絵画コンクール表彰式が、「八女市民会館おりなす八女」で行われました。

特選の方3名、1等の方4名が出席され、受賞者には表彰状と楯が福岡県県土整備部河川課吉武課長技術補佐から授与されました。

■日 時 平成29年12月17日(日)13:00～

■場 所 八女市民会館 おりなす八女(八女市本町602-1)  
第14回「ふくおか水もり自慢! in 矢部川」



河川愛護事業  
イメージキャラクター  
よみガエルくん

特選  
(低学年)



みやま市立上庄小学校1年  
井手 勝輝さん

特選  
(中学年)



宇美町立原田小学校3年  
平野 晴己さん

特選  
(高学年)



宇美町立原田小学校5年  
平野 喬久さん

1等



福津市立福岡小学校1年  
村上 凜汰郎さん

1等



柳川市立柳河小学校3年  
井上 太貴さん

1等



苅田町立与原小学校4年  
淋 泰晟さん

おめでとう  
ございます

1等



福岡市立福岡小学校5年  
片野坂 遥さん

過去の受賞作品はこちら



URL: <http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenyokai/concours/>



# 河川愛護絵画コンクール

## 入賞者紹介

今年度も「河川愛護絵画コンクール」では県内64の小学校から676点の応募があり、その中から92点を入選作品としました。今回は特選、一等入賞の子どもたちの絵を紹介します。

特選  
(低学年)



家族やお友達でしょうか。たくさんの人が、川の生き物たちと楽しくかかわっている様子が伝わってきます。川の中の生き物たちの形や向き、大きさ、石の配置などにも作者の工夫があります。きれいな川でまどまって泳いでいる生き物たちへの作者の見方もよく発揮できています。

Nice!

みやま市立上庄小学校 1年  
井手 勝輝さん

特選  
(中学年)



人物の表情、魚の形や大きさ、色の工夫によって、きれいな川で生き活きとした魚が育まれたことを感じさせる作品です。特に、眉間にしわを寄せたり目と口を大きく開けたりしている人物の表情が特徴的です。また、魚以外の川辺に生息する生物や川岸の砂利、草むらも1つ1つ丁寧に描かれています。

Good!

宇美町立原田小学校 3年  
平野 晴己さん

特選  
(高学年)



広い視野から河川とのかかわりや自然をとらえた高学年らしい作品です。釣り人とかみ取りをする人物、魚の大きさを工夫することで広い空間を感じさせます。また、勢いよく飛び跳ねたり抱きかかえられたりしている魚の色については水彩絵の具の特徴をよく生かして彩色されているところも優れています。

Great!

宇美町立原田小学校 5年  
平野 喬久さん

[作品講評：福岡県教育庁教育振興部義務教育課 中村 学氏]

1等



福津市立福間小学校 1年  
村上 凜汰郎さん



小竹町立小竹北小学校 2年  
藤木 心花さん



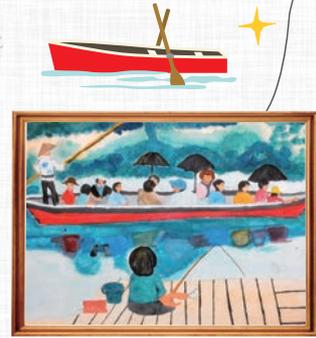
柳川市立柳河小学校 3年  
井上 太貴さん



荻田町立与原小学校 4年  
淋 泰晟さん



福岡市立福岡小学校 5年  
片野坂 遥さん



柳川市立柳河小学校 6年  
松野 舞子さん

2等

上毛町立南吉富小学校	1年	北山 陽彦
福津市立福間小学校		宗岡 琴音
柳川市立両開小学校	2年	池末 朋生
行橋市立仲津小学校		鍋山 蒼太郎
みやこ町立祇郷小学校	3年	中村 心美
北九州市立木屋瀬小学校		山島 健浩
みやま市立南小学校	4年	猪口 華音
みやま市立南小学校		中尾 響
荻田町立片島小学校	5年	井上 臥竜
行橋市立稗田小学校		竹下 斗己
荻田町立馬場小学校	6年	四方 星羅
荻田町立馬場小学校		本間 麻斗

3等

みやま市立上庄小学校		本田 咲来
福津市立福間小学校	1年	當谷 脩
春日市立日の出小学校		大江 竜弘
柳川市立二ッ河小学校	2年	諸藤 妃莉
直方市立直方西小学校		土井 涼平
八女市立岡山小学校	3年	平島 明果
行橋市立稗田小学校		竹下 紗由
行橋市立仲津小学校		武井 真哉
荻田町立荻田小学校		築瀬 胡桃
福岡市立福重小学校	4年	山田 めい
荻田町立与原小学校		松本 叶琉
荻田町立与原小学校	5年	出川 心音
志免町立志免西小学校		木下 凱翔

荻田町立馬場小学校	5年	北野 寿真
荻田町立片島小学校		重村 珠音
柳川市立二ッ河小学校	6年	鷹尾 光
荻田町立馬場小学校		三宅 彩天
福津市立上西郷小学校		渋田 鈴太郎

佳作

宇美町立原田小学校	1年	上瀧 惺太郎
久留米市立鳥飼小学校		森田 温仁
柳川市立柳河小学校		金子 誠弥
柳川市立柳河小学校		田中 敬也
柳川市立柳河小学校		中嶌 凜太郎
柳川市立豊原小学校		原田 歩武
柳川市立豊原小学校		加藤 世也
豊前市立角田小学校		須田 琥博
行橋市立稗田小学校		高田 絢菜
荻田町立荻田小学校		園田 星斗
柳川市立矢ヶ部小学校		森山 翔太郎
柳川市立矢ヶ部小学校		近藤 芽依
柳川市立両開小学校		井上 莉凰
みやま市立上庄小学校	2年	井手 花鈴
みやま市立上庄小学校		渡邊 真由
みやま市立下庄小学校		松藤 のぞみ
みやま市立大江小学校		岡 泰樹
福津市立福間小学校		的場 絢
荻田町立荻田小学校		岸本 颯太郎
宇美町立原田小学校	3年	金子 元春
荻田町立荻田小学校		高島 千詩
みやこ町立城井小学校		大東 寅之亮
水巻町立頃末小学校		十時 佑実途

福津市立上西郷小学校	3年	蓮尾 涉
柳川市立柳河小学校		中嶌 悠成
柳川市立両開小学校		江崎 心優
みやま市立下庄小学校		蛭川 りな
みやま市立南小学校		成清 未来
行橋市立今元小学校	4年	川邊 朔太郎
行橋市立泉小学校		世尾 優騎
荻田町立与原小学校		山下 碧恰
みやこ町立諫山小学校		樋口 元音
春日市立春日野小学校		富増 大生
みやま市立下庄小学校		只隈 璃音
みやま市立下庄小学校		福原 実玖
行橋市立行橋小学校		森 千晃
行橋市立行橋小学校		高橋 桜姫
みやこ町立豊津小学校	5年	奥屋 美里
荻田町立片島小学校		清川 陽菜
荻田町立南原小学校		藤田 海玖
荻田町立馬場小学校		瀧内 マリヨン
荻田町立馬場小学校		マクドナルド リリア
柳川市立六合小学校		横山 由芽
みやま市立南小学校		東 美来
みやま市立大江小学校		山下 りみ
行橋市立泉小学校		田中 晴己
みやこ町立久保小学校	6年	村松 美紀
みやこ町立久保小学校		藤河 充来
荻田町立馬場小学校		久松 愛奈
福津市立福間小学校		吉田 圭佑
荻田町立馬場小学校		竹野 和哉
嘉麻市立上山田小学校		川端 こはな
		後藤 なな

平成30年度も河川愛護絵画コンクールを行う予定です。学校を通じて募集をおこないますので、皆様ぜひご参加ください。

スケジュール(予定)

案内 / 平成30年5月頃、作成期間 / 案内~平成30年8月末、応募締切 / 平成30年9月初め  
入賞者決定 / 平成30年10月頃、表彰 / 平成30年12月頃

# わがまちの かわ

第36回

## 苧田町



福岡県



殿川

# KANDA

### ■ 苧田町の概要

## ともに創る“活力”“やさしさ”“希望”あふれるまち苧田

苧田町は、北九州市と行橋市の間に位置する人口約3万7千人、面積48.8平方キロメートルの町です。東は周防灘に面して、国際貿易港である苧田港と広大な臨海工業地帯が広がっています。また苧田港沖には北九州空港があり、苧田港、東九州自動車道苧田北九州空港インターチェンジと併せ、陸・海・空の交通結節拠点となっています。一方、西はカルスト台地平尾台に連なり、国の天然記念物青龍窟や広谷湿原など豊かな自然があります。

また本町には歴史的邪馬台国伝説にまつわる三角縁神獣鏡を出土した国指定の石塚山古墳や御所山古墳をはじめとした古墳や遺跡も数多く存在します。祭りの歴史も古く、山伏の祭りである等覚寺の松会は千年、苧田山笠は五百年の伝統があります。

こうした自然・文化・歴史・産業が調和し、充実した交通インフラがもたらすネットワークにより実現される、活気あふれるまちづくりを進めています。



等覚寺(とかくじ)の松会(まつえ)

## 小波瀬川



本町を流れる川で最も代表的なものは、平尾台にその源を發し行橋市と苅田町との境を流れる延長約 8km の二級河川小波瀬川です。流域の上流部は山地で自然豊かなためカワセミ、ホオジロなどが生息し、中・下流部沿川は古くから農業用水として利用されています。

## 殿川



苅田町は 11 の河川を管理しています。最近では河川愛護団体の活動が盛んで、特に苅田町役場横を流れる殿川では、ボランティアによる清掃活動や水辺観察会、ホタルの幼虫の放流など自然と生き物の関連性を学ぶ環境教育をおこなっています。

## 等覚寺の棚田



白川の山口・谷地区から山道を登っていくと、標高 300 メートルの位置に等覚寺の棚田があります。1992 年に農林水産省から農村景観百選（美しい日本のむら景観百選）に選ばれました。5 月下旬から 6 月上旬にかけて田植えが行われ、9 月中旬から 10 月上旬にかけて稲刈りが行われます。彼岸花、コスモス、ソバの花も咲き、棚田を美しく彩ります。

## 広谷湿原



北九州国定公園内にある、福岡県唯一の湿原です。キセルアザミ、チョウセンスイラン、ウメバチソウ、サワギキョウなどの湿原特有の野生植物が自生しています。青龍窟から西に 600m、平尾台自然観察センターから東に 2500m の位置にあります。苅田町からは等覚寺駐車場から行くことができます。

## 青龍窟



1962 年に国の天然記念物に指定された、全長約 3km、平尾台最大規模の鍾乳洞です。1976 年には、ナウマンゾウの頭蓋骨化石が出土しました。普智山等覚寺の奥の院として修験道の修行場になっていた歴史があります。また、洞窟内に住んでいた土蜘蛛を景行天皇が退治したという伝説や、豊玉姫の伝説が伝わっています。洞口ホールには、豊玉姫を祀る祭壇が残っています。

## 御所山古墳



古墳時代中期に造られた前方後円墳で、周濠・造り出しを有するのが特徴です。墳丘の長さは約 120m と推測されます。明治時代に横穴式石室内部が調査され、中国大陸や朝鮮半島との交流を読み取ることができる馬具などが出土しています。現在、宮内庁が所蔵しています。平成 19 年(2007)より苅田町教育委員会が整備のための調査を継続しており、埴輪などが出土しています。

## 白石海岸



苅田町の臨海部は、昭和 19 年に筑豊炭の積出港として出発し、昭和 26 年に重要港湾に指定されてから本格的な港湾整備と臨海工業地帯の造成が進められてきました。近年では、航路の掘下げ、大型バースの建設、工業用地（新松山地区）の整備が進められています。海岸の埋立開発が進む苅田町で唯一残っている自然の海岸がココ、白石海岸です。すぐ近くに養鳥（行橋市）も見える、絶好の親水スポットです。

## 石塚山古墳



### 三角縁 神獸鏡

古墳時代前期に造られた前方後円墳で、この時代に造られた古墳では全国屈指の規模を有します。墳丘の長さは約 130m と推測されます。昭和 60 年(1985)に国の史跡に指定されています。江戸時代に三角縁神獸鏡が出土しており、現在、7 面が宇原神社に所蔵されています。また、昭和 62 年(1987)の調査で後円部に竪穴式石槨が確認され、銅片や琥珀の勾玉、青、鉄などが出土しました。出土品は町の考古資料に指定され、苅田町歴史資料館に展示されています。

## 河川事業現地研修会に参加して

# MIYAZAKI

福岡県県土整備部河川開発課 主任技師 大久保 武志

宮崎県で開催された研修会に参加し、災害関連の事業を視察させていただきました。

研修1日目は耳川下流の日向市幸脇で行われている土地利用一体型水防災事業と、児湯郡川南町を流れる平田川の災害関連事業を見学しました。

宮崎県北部を流れる二級河川耳川では、河川沿いの平地において大きな浸水被害を何度も経験しており、河川の整備事業が進められています。今回見学した事業は、宅地嵩上げ方式による治水対策を行うものでした。対象となる各家屋を調査し、嵩上げが可能であれば、複数の油圧ジャッキにより基礎から家屋を持ち上げ、宅地の嵩上げ造成工事をしてから家屋を復旧するという全国的にも珍しい方式で、実際に基礎から浮き上がった家屋を目の当たりにして、こうした手法もあるのかと驚かされました。

また、耳川水系は年間を通して安定した水量があり、九州電力が管理する8つの水力発電用ダムが建設されています。しかし、流域全体では土砂に関する様々な問題も抱えており、河川本来の土砂の流れを取り戻すための「総合土砂管理計画」が進められていました。堆砂はダム管理における大きな課題のひとつであり、取り組みの効果が発揮されることを期待します。

次に向かったのは、平成26年6月の梅雨前線豪雨により河川護岸の決壊、浸水被害を受けた平田川の災害関連事業です。現地で当時の被害状況を解説いただき、被害の甚大さがうかがえました。再度の氾濫を防ぐには原型復旧だけでは困難ということで、河川等災害関連費を活用し自治体の負担を極力抑える形で河道拡幅や築堤嵩上げ等の改良復旧を実施した事例であり非常に参考となりました。改良後の断面は護岸の覆土や洗掘防止目的の石の配置といった景観にも配慮した施工がなされていました。

2日目は日南市にある宮崎県管理の広渡ダムで話を伺うことができました。広渡ダムでは、今年だけでも4度の洪水調節機能を発揮したとのことでした。しかし、平成17年の台風14号の際には累加雨量1,289mmを計測し、ダム上流の支川において山腹崩壊による河川埋塞や護岸の被害があり、形成された土砂ダムへの緊急対応や被災直後の早急な状況把握、応急工事の重要性を説明いただきました。今年7月に福岡県で発生した九州北部豪雨への対応と重なるところがあり、災害対応業務の大変さと日頃からの情報把握、初動対応の大切さを改めて認識することができました。

最後に、多忙な業務の中、現地での案内や説明をしていただきました宮崎県県土整備部の皆様に感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

# HEDAGAWA



耳川土地利用一体型水防災事業での家屋嵩上げ



平田川での現地説明

## 平成29年度河川事業現地研修会(宮崎県)に参加して

篠栗町都市整備課 主事 貞清 敦

平成29年11月9日から10日の2日間、宮崎県は日向市、児湯郡川南町、日南市へ河川現地研修に行きました。私にとっては初めての福岡県外現地研修会であり、宮崎県の河川事業について学び、他市町村の職員の方々と交流を深める大変貴重な研修になりました。

初日はまず、日向市にある耳川の視察をしました。耳川は流域面積が884.1 km<sup>2</sup>、幹川流路延長94.8 kmの宮崎県有数の二級河川であります。耳川本川の大内原ダム下流、坪谷川下流を除き、ほとんどが起伏の激しい山地を流れる溪流河川となっています。また、河川沿いの平地では、家屋や農地などが低いところにあるため、台風などによる氾濫の被害がしばしば発生し、問題となっています。特に平成17年9月に発生した台風14号により、浸水家屋424戸という甚大な被害を受けました。そこで、宮崎県では「耳川水防特定河川事業」として、鳥川地区、広瀬地区、福瀬地区の3地区の宅地などに対して治水対策を講じる事業を行っています。対策方法は宅地嵩上げ方式を治水対策として採用しています。家屋をジャッキアップ方式で嵩上げをするのですが、地区単位で宅地嵩上げを行うのは初の試みという事で、耳川の水防事業の規模の大きさを実感しました。

次に、児湯郡川南町にある平田川の視察をしました。平田川は平田川水系の二級河川であります。平成26年6月に発生した梅雨前線による豪雨では、短時間の増水により、護岸の倒壊、町浄化センターや耕作地の浸水など、甚大な被害を受けました。また、原型復旧工事では再度災害防止が図れないため、下流区間については河道拡幅、築堤の嵩上げ、上流区間については堆積土砂除去、脆弱な残存施設の補強などの改良復旧工事を行ったとのこと。竣工後、宮崎県全域に大きな被害をもたらした平成28年9月に台風16号が発生しましたが、当該地区の浸水被害はなくなったとのことで、ただ原型復旧するだけではない改良復旧の重要性を感じました。

2日目は日南市にある広渡ダムの視察をしました。ここでは「広渡川河川改修事業」の説明を受けました。広渡川は流域面積が330 km<sup>2</sup>、幹川流路延長44 kmの二級河川であります。広渡川の一次主川である槻の内川は、平成17年9月に発生した台風14号により、斜面延長770mの山腹崩壊が発生し、約250万m<sup>3</sup>の土砂被害を受けました。宮崎県では再度災害防止のためにICT(ドローン)を用いた設計図の作成などを採用しており、迅速な工事着手の対応に努めている事を感じました。

2日間を通して宮崎県の主な河川事業を知ることができ、大変刺激的な研修となりました。

最後に、業務の忙しい中、視察の案内・説明をしていただきました宮崎県庁の皆様、県外の貴重な現地研修会の機会をつくっていただきました福岡県河川協会の皆様に厚く感謝申し上げます。



【耳川の治水対策例：日向市】



【平田川：児湯郡川南町】



【広渡ダム：日南市】

# ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!!

No. 41

おに くら  
鬼 倉  
のり お  
徳 雄



北京の留学生に人気の鯉!



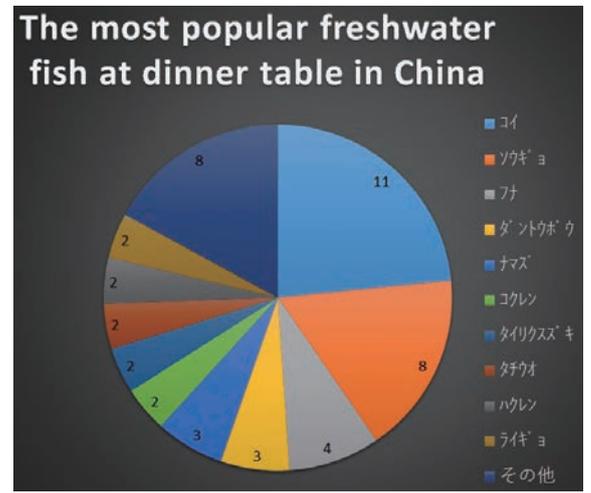
## CHINESE BANKING 【中国で人気の魚たち?】

**前** 回からの続きのお話です。おさらいしますと、北京の大学院生がやってきて、彼らの前で講義をする必要性に迫られた私。中国の四大名魚の淞江鱸、(日本名はヤマノカミ)を題材にして、彼らの気を引くための講義を計画、そんな書きっぷりだったと思います。そして、実際に、講義の当日には、生きたヤマノカミを観察用の小型水槽に入れて、彼らに見せながら、中国大陸と日本列島のかつてのつながりとか、この魚は海と川を行き来する降河回遊魚で、堰がたくさんできたせいで、生息域が狭められていることなどをお話しました。そして、留学生向け講義では、いつもやっている定番、「オイカワの甘露煮」をふるまいながら、日本は島嶼なので、内水面漁業は盛んではないけれど、各々の地域や河川・湖の伝統的な食文化が残っているんだといったお話をしました。そして、こちら側(日本側)の情報提供をするだけではもったいないと思った私、せっかくなので、北京からの留学生に、アンケート調査を行いました。その問いは「あなたの国の食卓で、人気の淡水魚を教えてください」です。

**早** 速、結果発表です。一番人気は何だったと思いますか? 皆さんにもなじみの魚、なん

と、コイです。きっと、この答えは、皆さんにとっては驚くような回答ではないかもしれませんが、でも、私にとっては…かなり期待外れの答えでした。中国には、先に触れた四大名魚以外に、四大家魚(アオウオ、コクレン、ハクレン、ソウギョ)と呼ばれる魚たちがいて、これらは中国の国内で最も有名な養殖魚たちなんです。そして、大きいらしい。ソウギョとアオウオは2m、ハクレン、コクレンは1mオーバー。きっと、それらのうちのいずれかが一位になるものと思っていたのに、コイ???

**実** は、この四大家魚は、日本では厄介者なんです。いずれも、本来、日本列島には生息しなかった魚で、食糧事情が厳しかった時代



に中国から持ち込まれ、国内の河川に放たれてしまった国外外来魚なんです。ハクレンなどが、利根川水系に定着していて、昔から問題視されています。講義の後半、四大家魚の話を変えながら、外来生物問題についてたっぷりお話をしました。にもかかわらず、持ち帰ったアンケートの中身を見て…。ソウギョが二位に、コクレンとハクレンは同率の六位にはなっていましたが、まさか、講義の主役だった中国で人気のはずの四大家魚が、一位ではない…。

**ア**ンケート内の質問内容は、もう一つ。「あなたの国の淡水魚の調理方法を教えてください」です。これは、とても勉強になりました。「一位はSteam。うんうん、なるほど、蒸しですね。きっと、上からソースかけて、あんかけみたいにして食べるんだろうな」など、いろいろと勝手な想像が膨らみます。そして、二位を見たとき、「Braise? Braiseって何? どんな調理法?」ということで、辞書を開くと、「少量の水でトロトロと煮込む」と書かれていました。うーん、もしかして、英語の語彙力の豊富なうちの学生や院生たちなら知っているかと思い、聞いてみました。すると、「いやあ、初めて聞きました」との返答で…。きっと、我々になじみのない調理法だからでしょうか。いずれにしても、英語の勉強にもなった! 「中国では、少量の水でトロトロと、きっと野菜などと一緒に淡水魚を煮込んで食べるのが、結構、人気なんだろう」と、日本ではあまりなじみのない調理法だけに、想像を膨らませるのが難しいですが、きっとそんなイメージなのでしょう。

**さ**て、アンケートの最後には「備考」とか、「ご自由にお書きください」が定番。本当に、いろいろなことが書かれていました。なぜかは分かりませんが、一人だけイランからの院生が混ざっていて、「あまり淡水魚は食べないけれど、ゲームフィッシングでうんぬんかんぬん…」と、書かれていました。魚の種名、英名か学名が書かれてなかったの、そこから先の想像が膨らみません。「中国では、北と南で食文化が違って…」なんかもありました。たしかに、中華料理も北京と上海で違いそう。そして、一人だけでなく、数名が書いていた、「No bone!」の一言。その数名の記述から考えた私の想像は、「中国の人々は、味がおい

しい魚ではなく、体が大きくて身離れが良い魚がお好き。きっと、口に入る際の身に骨がないことが、とても重要なのでは…。きっと、中華料理はいろいろな調味料を使うので、魚の種ごとの味の個性はあまり関係がないのかも…」でした。私は、魚料理、子どものころ、刺身以外は嫌いでした。でも、サンマだけは大好きだった。焼サンマは身離れが良いので、骨が口に入ることがないから。そして、脂がのっておいしいから…。やっぱり脂のりとか語ってますね。日本人は、魚の調理方法がシンプルなので、各々の魚種の味の個性にうるさく成長してしまうのかもしれない。もちろん、これも私の勝手な想像です。今日は、中国で食卓に上がる魚アンケートに名前が出てきた魚の写真を掲載して終わりたいと思います。



フナ



スズキ



カムルチー

おに くら のり お  
**鬼倉 徳雄** — NORIO ONIKURA —

- 九州大学大学院農学研究院・准教授
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員・学会賞選考委員
- 応用生態工学会評議委員・編集委員

主な著書／

- 生きざまの魚類学 魚の一生を科学する(猿渡敏郎編著)
- 見えない脅威 “国内外来魚”  
(日本魚類学会自然保護委員会編)

協会からのお知らせ

福岡県河川協会の要望活動



協会を代表して、吉村会長(左)から牧野国土交通副大臣(右)に「要望書」が提出されました。

福岡県河川協会では、平成29年10月24日(火)に国土交通省、地元選出国会議員の方々に対し、通常総会において決議した災害復旧及び防災事業等の推進について、要望活動を行いました。

特に昨年は、7月5日からの九州北部豪雨により朝倉市や東峰村などで甚大な被害が発生したため、この災害からの早期復旧及び再発防止対策、水位計や監視カメラ等の情報基盤システム構築の推進等について、要望いたしました。

当日は、協会役員等の市長・町長をはじめ、副市長・副町長、福岡県県土整備部河川課長等、計21名が参加されました。

写真：協会役員の皆様

(前列左から)長崎新宮町長、佐々木糸田町長、吉村会長、手嶋川崎町長(後方)、牧野副大臣  
二場田川市長、片岡県議会議員、赤間嘉麻市長

編集  
後記

河川愛護絵画コンクール表彰式を行った活動発表会「ふくおか水もり自慢」が、12月に八女市でありました。川の生き物を調べた子ども達の発表もありました。そこで大人から質問。「○○○○は、いましたか?」魚の名前? 聞かれた子どもは少し首をかしげた後、「たぶんいたと思いますが、顔は覚えていません。」(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL:092-633-2826(直通)  
FAX:092-643-3669  
企画 正光印刷株式会社